

## 令和3年7月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和3年7月1日（木） 午前8時35分から午前11時5分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

### ◇会議内容

#### <市長あいさつ>

- ・出水期に入った。職員は一層気を引き締めて、災害に備えてもらいたい。
- ・市議会6月定例会で本会議や委員会を通じて寄せられた意見や提案等については、特にスピード感を持って検討し、答弁と齟齬が生じないように、取組を進めること。
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種を進めることが、市民生活や地域経済の正常化に向けたカギである。最大限の人的、物的資源を投入して円滑な接種を進めていきたい。そのための人事異動により職員が減った職場では、部局長は、職員の健康管理や業務の効率化など、部内の環境に一層配慮してほしい。
- ・市議会6月定例会の一般質問で表明したとおり、私の任期は、この2期8年をもって全うしたい。市長就任以来、人口減少・少子高齢化対策や中山間地の活性化など、さまざまな課題に職員の皆さんとともに取り組んできた。残された任期の中で2期8年の総仕上げをしたい。また、令和元年東日本台風災害と新型コロナウイルスのダブルパンチを乗り越えるため、任期中に復興と市民生活の正常化、地域経済の回復に向けた道筋を明確にしていきたい。
- ・今月23日から東京2020オリンピック競技大会が始まる。6月23日には、市芸術館で「東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を支援するメッセージ」を、山ノ内町、白馬村、軽井沢町、野沢温泉村の4町村の首長と共同で発信した。
- ・今月11日からデンマーク競泳チームが本市で合宿を行う。新型コロナウイルス対策のため直接的な交流は難しいが、様々な形で歓迎と応援の気持ちを伝え、世界のトップアスリートが本市を訪れる貴重な機会を生かせるよう、工夫して対応願いたい。
- ・今月22日の善光寺での前夜祭に続き、開会式当日からは「東京2020大会コミュニティライブサイト in NAGANO」を開催する。大会の感動と興奮を皆で共有し、冬季オリンピック開催都市である長野から、東京オリンピックを盛り上げていきたい。

### 1 報告事項

#### (1) 「工事の施工時期の平準化」及び「適正な工期の確保」について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料1参照）

##### ○質疑

〔副市長〕 建築系の工事は適正工期の判断が難しいので、建設部長を中心に検討してほしい。

〔建設部長〕 特に学校工事は、工期が長期休業期間中に限られるため、しっかり対応していきたい。

#### (2) 令和2年度産業団地事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明した。（資料2参照）

##### ○質疑

〔財政部長〕 豊野東部工業団地は原価割れしたとのことだが、東鶴賀産業用地は大丈夫か。

〔商工観光部長〕黒字を見込んでいる。

〔副市長〕現在、サプライチェーンの問題など、「経済の安全保障」が話題となっている。米中関係の不安定化や新型コロナウイルスの影響により、今後国内回帰が進む可能性もある。産業用地の開発については、都市整備部や農林部も協力してほしい。

### (3) 令和2年度戸隠観光施設事業会計決算について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明した。（資料3参照）

○質疑なし

### (4) 長野市立地適正化計画の改定について（都市整備部）

標記事項について、都市整備部長から説明した。（資料4参照）

○質疑

〔上下水道事業管理者〕立地適正化計画は、自由度が高く、国の交付金を獲得する上でも大変有益である。4つの都市機能誘導区域へ誘導する施設に、医療施設がない。新型コロナウイルス感染症により基幹病院の重要性が改めて認識されている。今回の改正に際しては、医療施設を含めるよう検討してほしい。

〔都市整備部長〕御意見を参考にしながら、具体的な内容も含めて検討していきたい。

〔上下水道事業管理者〕防災指針の作成に関してだが、市の相当の範囲が浸水エリアに指定されている。一見すると居住に支障があるように見えてしまうが、あくまでもリスクを把握した上で対策を取っていくということ。この計画には、安全安心で住みやすい長野市になるよう取り組んでいることも示して誘導するという、プラスの視点も盛り込んでほしい。

〔都市整備部長〕リスクを低減するという考え方の下、他市町村の事例も参考にしながら、アナウンスの仕方を検討したい。

### (5) 令和2年度水道事業会計及び下水道事業会計決算について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料5参照）

○質疑なし

## 2 協議事項

### (1) 長野市国土強靱化地域計画（案）の市民意見等募集（パブリックコメント）結果及び計画の決定について（総務部）

標記事項について、危機管理防災監から説明し、協議を行った。（資料6参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

### (2) 長野市SDGs未来都市計画（素案）のパブリックコメントについて（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から説明し、協議を行った。（資料7参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

### (3) 令和2年度第二次長野市環境基本計画後期計画の取組結果及び令和3年度指標・目標値等

## の設定について（環境部）

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。（資料8参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

## （4） 勤労者福祉施設再編の方針案について（商工観光部、地域・市民生活部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料9参照）

○質疑

〔こども未来部長〕個別施設計画では、今回の4施設については、「機能は継続、建物は解体又は事後保全」となっている。性別や年齢という利用者の枠は外れるが、「勤労者」という枠は残るため、将来的に改めて再編が必要となる可能性もある。また、北部勤労青少年ホームの建て替えは、今回初めて出た話であり、議会や住民にどのように説明していくのか。

〔商工観光部長〕各施設に現に利用者がいる中で再編を進めるには、「勤労者」という枠組みで行うのが最適と考える。個別施設計画は一部変更となるので、今後丁寧に説明し、最終的には部長会議で決定していく。また、再編にあたっては、北部、中部、南部という地域バランスを考慮する必要があり、北部は老朽化が進み耐震性もないことから建て替えが必要。公共施設マネジメントでは施設の廃止が前面に出がちであり、施設の更新という視点も提示していく必要がある。

〔こども未来部長〕市長出席の地区市民会議等で、複数の地区住民から、公民館・交流センターの老朽化に伴う建て替えについての要望が寄せられている。住民活動の拠点施設として地区住民の長年の要望であり、施設更新の際は、「勤労者」という枠組みだけではなく、市全体の施設を含めた優先順位付けという視点も必要である。

〔副市長〕今回の再編計画の優れている点は、勤労者福祉施設と男女共同参画施設について整理した上で、現在の物差しを当て、今必要な施策の展開を明示したこと。個別施設計画は金科玉条ではなく、個々の施設の廃止や再編に当たっては、今回のような時代に即した考え方を住民に明示して進めていく必要がある。また、「公共施設マネジメント＝施設廃止」ではなく、住民の皆さんに必要なものをいかに提供していくか考えるのが我々の仕事である。

〔こども未来部長〕建物と機能を分けて考えれば、公民館等既存の建物を使って機能を継続することはできる。建て替える必要はあるのか。

〔商工観光部長〕勤労者福祉施設は、地域施設ではなく市全体の施設であるため、地域バランスが重要であり、築50年となる北部の建て替えは必要と考える。

〔農林部長〕個別施設計画の変更にあたっては、パブリックコメントを経て決定した計画を変更することになるため、手続きに瑕疵のないように進める必要がある。

〔商工観光部長〕公共施設マネジメント推進課とも協議する中で、「広報ながの」での周知や市民アンケートなどにより幅広い層に全体的な考えを聞くことを考えている。

〔副市長〕最低限、審議会には諮ること。

〔公有財産活用局長〕公共施設適正化検討委員会の意見も聞きながら進めていく。

〔商工観光部長〕公共施設マネジメントを進める上では、施設の統廃合は避けられず、痛みを伴う部分がある。着実に進められるよう、議会や市民への説明に際しては、公共施設マネジメント推進課にしっかり後押ししてもらいたい。

〔副市長〕統廃合だけでなく、必要な施設は建替えや長寿命化も含めて、時代の物差しを当ててしっかりとした考え方を示していくことが大切である。

〔財政部長〕財政部としては、今回の再編計画は適切なものと考えている。公共施設マネジメントの推進に当たっては、どうしても痛みを伴う部分があり、筋を通して説明し、住民の理解を得る必要がある。

〔公有財産活用局長〕今後の公共施設マネジメントは、面積ありきではなく、施設の規模が縮小しても機能の充実を目指すというような説明が必要となってくる。痛みを伴う部分をどうカバーしていくかということも含めて、施設所管課と協議、連携しながら進めていく。

〔市長〕限られた財源の中で将来に向けてどこに予算をかけていくか、優先順位を決めていく必要がある。個々の施設だけでなく、全体を見ながら判断してほしい。

〔西澤部長〕様々な意見があり、それぞれ重要な視点が含まれていた。出された意見を踏まえて進めていただきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (5) 飯綱高原スキー場後利用の今後の進め方について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料10参照）

#### ○質疑

〔財政部長〕リフト撤去のスケジュールと費用を教えてください。

〔商工観光部長〕ゲレンデの後利用の方向性が決まった後に撤去する。費用は概算で2億円程度と見込んでおり、起債の対象にはならない。

〔財政部長〕撤去は急がないということか。

〔商工観光部長〕後利用に当たってのイメージの問題もあり、いつまでもそのままにしておくわけにはいかない。

〔市長〕活用しないのであれば早く撤去した方がよい。

〔副市長〕撤去が決まれば、年次計画で実施してはどうか。

〔商工観光部長〕地元からもスキー場を放置しないよう要望があるため、そのように進める。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (6) 長野地域（長野・上田間）の水道事業広域化について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明し、協議を行った。（資料11参照）

#### ○質疑

〔都市整備部長〕全体とすれば経費の削減になるとのことだが、本市の水道料金は現在と比べてどうなるか検討しているか。

〔上下水道局長〕具体的にどの程度効果が出るかは今後さらに検討が必要だが、現在の本市の給水原価よりは上田市や県の給水原価の方が低いため、少なくとも抑制効果はあるものと考えている。

〔市長〕市内の水道料金は市営と県営で異なるため、これを機に水道料金が統一されるように進めてほしい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

## 3 その他

### (1) 第三次やまざと振興計画の策定について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明を行った。（資料12参照）

#### ○質疑

〔副市長〕この計画は任意計画であり、国による財源措置はないが、計画策定を機に、中山間地域の住民のためにも、辺地債の条件の緩和を国に働きかけてもらいたい。

〔地域・市民生活部長〕本計画で中山間地域全体の課題や施策を体系的にまとめ、その上で辺地債の活用を考えて

いきたい。

(2) 持続可能な消防団組織の構築について (消防局)

標記事項について、消防局長から説明を行った。(資料13参照)

○質疑なし

以上